

働きやすい職場環境づくり

新和運輸

新和運輸(若尾章二郎社長、愛知県弥富市)は、2023年度に働きやすい職場認証制度の三つ星をいち早く取得して社内の働きやすさの指標を示すとともに、改正改善基準告示の制限時間内で業務を終わらせる仕組みの構築によって従業員の満足度を高めている。

同社は名古屋港の海上コンテナ輸送の取り扱いを60年以上手掛け、運輸、作業、整備の3本柱で運営。海コン輸送の業務は通常、長時間でつらい労働のイメージがある中、完全週休2日制をいち早く導入するなど、短い労働時間で利益を出せる体制を築いてきた。

若尾社長は「当社のドライバーは、地場の荷主と自社倉庫の周回で一日10個ほど海コンを触れることもある。楽ではないが、日々の業務を濃密にする一方で、長時間働いて給料が高いの

時間当たり利益率向上

長期間働ける環境整備



ではなく、管理者とドライバー全体で時間当たりの利益率を上げるテクニックを磨いてきた」と話す。

現在では、時間外労働60

取り扱う貨物は、食品から木材や石材、危険品など多品種で、特に重量のかさむ原料が多い。そのため、本社を置く西尾張地区に3カ所、名古屋市内に1カ所の倉庫を保有し、ドレージから保管、配送の一貫輸送体制を構築。荷姿を変えて配送を行うことでトレーラ一台当たりの収益性を上げてきた。

「先代、先々代とドライバーが家族との時間を過ごせるよう日帰りの仕事を最優先してきた。仕事を楽しくできる職場が本当の働きやすい会社だと思っている。今後は健康管理にも一層力を入れ、より長期間働ける環境を目指すとともに、離職率が低く、なかなか入れない会社を維持していきたい」

(梅本誠治)